

事 務 連 絡
平成30年8月7日

各都県 一般社団法人トラック協会専務理事 殿

関東運輸局自動車技術安全部
保安・環境課長

台風接近に伴う自動車の事故防止について

気象情報によると、台風第13号は6日11時00分現在、小笠原諸島の東海上を発達しながら北上しており、9日には勢力があまり衰えないまま東海地方から関東地方にかけての沿岸に、かなり接近・上陸する見込みです。この台風の影響により、関東地方に停滞する前線の活動の活発化が見込まれ、東海地方及び関東地方、東北地方を中心とした広い範囲で、大雨、暴風、高波、高潮への厳重な警戒が必要となります。

つきましては、傘下会員に対し、今後の気象情報に十分注意し、輸送の安全確保に万全を期するよう周知方お願い致します。

また、風雨等による異常事態発生時における緊急連絡体制を再確認するとともに、当該台風による事業用自動車の事故等の情報を入手した場合は、当局保安・環境課（TEL：045-211-7256、FAX：045-201-8813、時間外：080-3369-7054）あてに情報提供をお願い致します。

台風第13号について

(台風の接近・上陸に伴う大雨、暴風、高波、高潮に警戒)

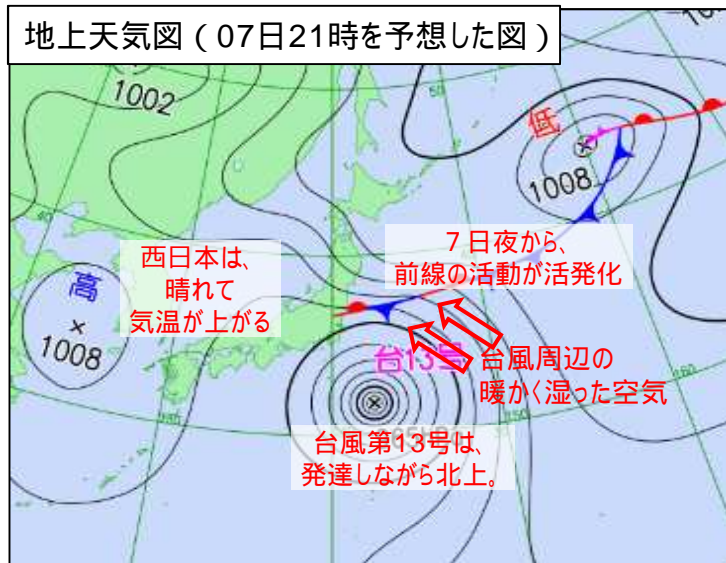
平成30年8月6日11時00分

< 気象概況 > 台風第13号は、今日6日(月)に小笠原諸島の東海上を発達しながら北上する見込み。小笠原諸島では、今日6日(月)夕方から明日7日(火)にかけて、強風や高波、急な強い雨に注意。

その後、台風は、明後日8日(水)には伊豆諸島に達し、9日(木)には、勢力があまり衰えずに、東海地方から関東地方にかけての沿岸に、かなり接近・上陸するおそれ。また、明日7日(火)夜から台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込み、関東地方に停滞する前線の活動が活発となる見込み。

東海地方及び関東甲信地方、東北地方を中心とした広い範囲で、明日7日(火)夜から10日(金)にかけて、大雨、暴風、高波、高潮に厳重に警戒。台風の動きが遅いため、総雨量が多くなるなど、台風の影響を長く受けるおそれ。日本沿岸は一年で一番潮位の高い時期であることに留意。最新の台風情報等に留意。

< 平成30年7月豪雨の被災地への影響(西日本の気象の見通し) > 今後1週間は、最高気温が35度以上の猛暑日となるなど、晴れて厳しい暑さが続く見込み。屋外はもとより、屋内でも、熱中症に対して、できる限りの対策が必要。また、8日(水)から9日(木)頃にかけては、台風接近に伴う湿った空気の影響で、雷雨となるところがある見込み。落雷や突風、急な強い雨など天気の急変に注意。引き続き、土砂災害等に注意。



7日夜から10日にかけて台風は、自転車並の速度で北上
東海、関東甲信、東北地方を中心に台風の影響を長く受けるおそれ

